

2017 春季生活闘争・妥結情報

2017.6.5—第18号— 連合北海道 春季生活闘争本部

2017 春季生活闘争 回答集計結果について

連合本部は、2017 春季生活闘争につき6月1日（木）午前10時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り報告した

- すべての組合が「底上げ・底支え」「格差是正」に重点を置き、月例賃金にこだわり早期解決の取り組みを進めてきた結果、5月末時点で約8割の組合が妥結している。
- 平均賃金方式でみると、「底上げ・底支え」のトレンドは全体として維持されている。300人未満の中小組合の健闘は依然めざましく、「賃上げ分」「定昇相当分込み」が昨年同時期を超えるとともに、「賃上げ分」の率は大手を上回っている。なお「賃上げ分」の額について、交渉が難航していた一部大手が回答を引き出したことが影響している。連合が2016春季生活闘争から主張してきた「大手追従・大手準拠などの構造を転換」する運動が浸透してきたものと評価する。
- 非正規労働者の賃上げは時給で依然20円超えをキープしており、昨年同時期比もプラスである。連合試算の率換算で正規の賃上げを上回っている。
- 各種取り組みの集計結果では、ここにきてインターバル休息導入他長時間労働是正の取り組み件数が伸びている。いまや社会全体の課題となったワーク・ライフ・バランス実現に向けて、労使が職場実態を踏まえた真摯かつ前向きな交渉・協議を進めてきたことが読み取れる。

連合北海道における6月2日までの集計では、妥結報告は174組合。月例賃金の加重平均では、妥結額5,149円（定昇・ベア込み）で、昨年同時期の5,114円を35円上回った。

【組合規模別賃上げ状況 2017年6月2日連合北海道集計】

組合規模	集計組合	対象組合人数(人)	加重平均妥結額(定昇・ベア込)妥結率	昨年集計組合	昨年対象組合人数(人)	昨年実績額(定昇・ベア込)実績率	昨年比増減額
～99人	95	4,283	3,768円(1.78%)	95	3,972	3,604円(1.69%)	+164円
100～299人	43	7,402	4,412円(1.99%)	44	6,881	3,889円(1.69%)	+523円
300人未満計	138	11,685	4,180円(1.92%)	139	10,853	3,780円(1.69%)	+400円
300～999人	33	16,174	4,995円(1.91%)	37	18,293	4,882円(1.88%)	+113円
1,000人～	8	14,544	5,933円(2.12%)	11	25,319	5,809円(2.20%)	+124円
300人以上計	41	30,718	5,464円(2.02%)	48	43,612	5,443円(2.07%)	+21円
計	179	42,403	5,149円(2.00%)	187	54,465	5,114円(2.00%)	+35円

一時金については、加重平均で年間妥結額1,168,847円（20組合）、年間月数は70組合4.29ヶ月（前年4.27ヶ月）となっている。

非正規（有期契約、短時間パートなど）の労働条件に関して、時間給は加重平均で15組合23.71円（前年15組合21.44円）、前年比+2.27円となっている。月給制では5組合で妥結し、加重平均で+3,234円となっている。

エントリー組合の残る約3割は、現在も妥結を目指して交渉を継続しており、連合北海道を情報提供に努め、地場中小企業組合への波及を追及していく。